



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月2日

上場会社名 株式会社ファインシンター 上場取引所 東・名  
 コード番号 5994 URL https://www.fine-sinter.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 井上 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経理部長 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	29,570	2.1	△1,139	—	△1,117	—	△1,168	—
2022年3月期第3四半期	28,957	18.0	220	—	428	—	50	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △1,045百万円( —%) 2022年3月期第3四半期 594百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△265.40	—
2022年3月期第3四半期	11.40	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	49,907	19,534	33.7	3,826.34
2022年3月期	51,052	20,888	35.4	4,102.48

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 16,839百万円 2022年3月期 18,054百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	0.1	△1,130	—	△1,430	—	△1,340	—	△304.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期3Q	4,420,000株	2022年3月期	4,420,000株
2023年3月期3Q	19,168株	2022年3月期	19,144株
2023年3月期3Q	4,400,852株	2022年3月期3Q	4,400,920株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国際情勢は、国内新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等が進む一方で、原材料やエネルギー価格の高騰、欧米を中心としたインフレの進行、ウクライナ、米中情勢など地政学リスク、中国景気減速、欧米景気後退リスク、急激な為替変動など先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ製品の主要市場である自動車産業においては、世界的な半導体不足及び原材料やエネルギー価格高騰の影響があり、当社としても厳しい経営環境状況となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は295億70百万円（前年度比2.1%増）となり、営業損失は11億39百万円と前年同四半期に比べ13億59百万円の減益となりました。また第2四半期連結累計期間において、為替差益3億66百万円を計上しましたが、その後の急激な為替相場の変動により、当第3四半期連結累計期間の為替差益は2億52百万円減少し、1億13百万円となり、経常損失は11億17百万円と前年同四半期に比べ15億46百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億68百万円と前年同四半期に比べ12億18百万円の減益となりました。

このような状況の中、当社は足元の収益基盤強化と合わせて「中期経営計画2025」に沿った取組みを着実に継続しています。電動化対応については、将来に向けた開発推進に加え、新型ハイブリッド車用のインバーター部品の追加受注により、23年年初に増産、24年年央には更に生産ラインを増設予定です。デジタル技術と匠の技の融合によるモノづくり革新「未来Factory」の実証を継続し、来年度から工場へ展開予定です。また、グローバル最適生産の一環で、タイ子会社第二拠点の立上げ準備を計画通り推進しております。あわせて、食糧課題対応としての昆虫食事業を含めた新規事業開拓、カーボンニュートラルへの取組み、人的資本への投資などに積極的にリソースを投入し、将来の収益力確保、企業価値向上への取組みを推進してまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①自動車焼結事業

為替変動の影響を除くと、国内、米国を中心とした半導体不足に伴う得意先での生産調整の影響等で販売量減少となりました。当社グループとしては、休業日設定等による稼働調整、省人推進及び生産課題の解消に加え、原材料やエネルギー価格高騰に対して販売価格への反映などに取り組みましたが、その影響等を吸収しきれず、大幅な減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は267億70百万円と前年同四半期と比べ5億28百万円（2.0%）の増収となり、セグメント損失につきましては、2億円と前年同四半期と比べ13億27百万円の減益となりました。

#### ②鉄道焼結事業

新幹線用ブレーキライニング及び新幹線用すり板の搭載車両増加が売上増に寄与している一方、2020年度第2四半期以降の新型コロナウイルス感染拡大に伴う減便等の影響による、発注数の減少により減収となりました。収益面では原材料やエネルギー価格高騰の影響があるものの、売上減に対応した原価低減策等により減収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10億90百万円と前年同四半期と比べ66百万円（△5.8%）の減収となり、セグメント利益につきましては、90百万円と前年同四半期と比べ38百万円（75.6%）の増益となりました。

#### ③油圧機器製品事業

北米向けデンタルチェア用製品市場で顧客の在庫調整が一部あるものの、第2四半期までの堅調な伸びの効果もあり増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は17億2百万円と前年同四半期と比べ1億49百万円（9.6%）の増収となり、セグメント利益につきましては、4億75百万円と前年同四半期と比べ28百万円（6.3%）の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

資産は499億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ、11億45百万円減少いたしました。これは、新規設備投資

に伴う現金及び預金の減少（前連結会計年度末比17億26百万円減）、原材料価格の高騰などに伴う原材料及び貯蔵品の増加（前連結会計年度末比4億1百万円増）によるものであります。

（負債）

負債は303億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2億8百万円増加いたしました。これは、急激な円安進行に伴う為替換算差による短期借入金の増加（前連結会計年度末比2億52百万円増）、1年内返済予定の長期借入金（前連結会計年度末比3億89百万円増）、冬期賞与支給に伴う賞与引当金の減少（前連結会計年度末比4億28百万円減）によるものであります。

（純資産）

純資産は195億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ、13億54百万円減少いたしました。これは、主に世界的な半導体不足、原材料やエネルギー価格高騰の影響等による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比13億円減）、その他有価証券評価差額金の減少（前連結会計年度末比1億64百万円減）、円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比2億87百万円増）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年10月27日に公表いたしました「「第2四半期連結累計期間における業績予想値と実績値との差異ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から修正しております。

詳細につきましては、本日（2023年2月2日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,969,402	4,243,343
受取手形及び売掛金	7,427,045	7,206,428
電子記録債権	1,474,595	1,575,369
商品及び製品	1,226,593	1,220,415
仕掛品	1,981,340	1,985,097
原材料及び貯蔵品	3,155,611	3,556,882
その他	252,940	452,657
流動資産合計	21,487,529	20,240,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,418,154	14,806,858
減価償却累計額	△9,323,005	△9,656,466
建物及び構築物(純額)	5,095,148	5,150,392
機械装置及び運搬具	53,226,688	54,026,386
減価償却累計額	△40,552,832	△41,940,449
機械装置及び運搬具(純額)	12,673,855	12,085,937
工具、器具及び備品	6,051,353	6,532,285
減価償却累計額	△5,204,741	△5,692,971
工具、器具及び備品(純額)	846,611	839,313
土地	3,574,072	3,633,696
リース資産	1,531,838	1,574,922
減価償却累計額	△723,547	△818,272
リース資産(純額)	808,290	756,650
建設仮勘定	2,244,880	2,874,462
有形固定資産合計	25,242,859	25,340,453
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	6,927	782
その他	503,389	603,183
無形固定資産合計	521,724	615,374
投資その他の資産		
投資有価証券	2,586,299	2,357,365
長期貸付金	12,179	11,569
繰延税金資産	1,169,221	1,305,651
その他	32,702	36,658
投資その他の資産合計	3,800,403	3,711,244
固定資産合計	29,564,986	29,667,072
資産合計	51,052,516	49,907,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,142,857	2,935,511
電子記録債務	3,043,927	3,218,209
短期借入金	9,059,950	9,312,000
1年内返済予定の長期借入金	2,006,598	2,395,618
リース債務	187,119	106,394
未払法人税等	140,193	33,361
未払消費税等	207,162	98,217
未払費用	702,373	683,885
賞与引当金	944,637	516,082
役員賞与引当金	38,248	28,924
設備関係支払手形	59,009	1,675
営業外電子記録債務	395,548	346,217
その他	722,217	1,085,119
流動負債合計	20,649,844	20,761,217
固定負債		
長期借入金	4,271,398	4,362,434
リース債務	739,903	775,233
繰延税金負債	36,348	40,006
役員退職慰労引当金	119,004	98,914
退職給付に係る負債	3,986,137	3,970,736
資産除去債務	356,486	360,701
その他	4,998	3,825
固定負債合計	9,514,278	9,611,852
負債合計	30,164,122	30,373,069
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,721,609	1,721,609
利益剰余金	11,778,048	10,478,020
自己株式	△30,976	△31,006
株主資本合計	15,671,681	14,371,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,198,486	1,034,460
為替換算調整勘定	1,067,027	1,354,550
退職給付に係る調整累計額	117,214	78,439
その他の包括利益累計額合計	2,382,729	2,467,450
非支配株主持分	2,833,982	2,695,122
純資産合計	20,888,393	19,534,196
負債純資産合計	51,052,516	49,907,266

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	28,957,310	29,570,240
売上原価	25,616,157	27,365,564
売上総利益	3,341,152	2,204,676
販売費及び一般管理費	3,120,672	3,343,920
営業利益又は営業損失(△)	220,479	△1,139,244
営業外収益		
受取利息	8,800	10,503
受取配当金	66,030	74,104
為替差益	32,048	113,835
助成金収入	346,896	138,589
雑収入	31,053	50,492
営業外収益合計	484,829	387,526
営業外費用		
支払利息	143,693	191,405
固定資産除却損	83,264	125,114
雑支出	49,381	48,842
営業外費用合計	276,339	365,362
経常利益又は経常損失(△)	428,969	△1,117,080
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	428,969	△1,117,080
法人税等	224,928	5,897
四半期純利益又は四半期純損失(△)	204,041	△1,122,978
非支配株主に帰属する四半期純利益	153,851	45,024
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	50,189	△1,168,002



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	204,041	△1,122,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	143,538	△164,025
為替換算調整勘定	285,265	280,206
退職給付に係る調整額	△37,963	△38,721
その他の包括利益合計	390,840	77,459
四半期包括利益	594,882	△1,045,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313,911	△1,083,036
非支配株主に係る四半期包括利益	280,971	37,518

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (セグメント情報等)

## 1. 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車 焼結事業	鉄道 焼結事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,241,205	1,156,903	1,552,568	28,950,677	6,633	28,957,310	—	28,957,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	26,241,205	1,156,903	1,552,568	28,950,677	6,633	28,957,310	—	28,957,310
セグメント利益	1,126,684	51,450	447,210	1,625,345	2,421	1,627,766	△1,407,286	220,479

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,407,286千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車 焼結事業	鉄道 焼結事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,770,073	1,090,281	1,702,116	29,562,471	7,769	29,570,240	—	29,570,240
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	26,770,073	1,090,281	1,702,116	29,562,471	7,769	29,570,240	—	29,570,240
セグメント利益 又は損失(△)	△200,758	90,362	475,425	365,029	3,570	368,599	△1,507,843	△1,139,244

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,507,843千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。